

平成 22 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 イーター電機工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 北川 浩  
 (JASDAQ・コード 6891)  
 問い合わせ先 代表取締役専務 山本 浩之  
 (電話 03-3745-6740)

(訂正・数値データ訂正あり)「特別利益、特別損失の発生及び平成 23 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」  
 の一部訂正について

本日、平成22年11月4日に公表いたしました「特別利益、特別損失の発生及び平成23年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」の数値データに一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。訂正箇所は下線にて表示いたしております。また、訂正後の数値データも提出しております。

記

(訂正前)

(1)平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	3,885	255	200	160	19 円 12 銭
今回修正 (B)	4,043	167	62	△352	<u>△42 円 7 銭</u>
増減額 (B-A)	158	△88	△138	△512	
増減率 (%)	4.1%	△34.5%	△69.0%	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,449	△3	△84	△47	△5 円 65 銭

(訂正後)

(1)平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	3,885	255	200	160	19 円 12 銭
今回修正 (B)	4,043	167	62	△352	<u>△42 円 10 銭</u>
増減額 (B-A)	158	△88	△138	△512	
増減率 (%)	4.1%	△34.5%	△69.0%	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,449	△3	△84	△47	△5 円 65 銭

(訂正前)

(3) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,941	184	130	127	15 円 18 銭
今回修正 (B)	1,942	<u>45</u>	<u>47</u>	△68	△ 8 円 13 銭
増減額 (B-A)	1	<u>△139</u>	<u>△83</u>	△195	
増減率 (%)	0.1%	<u>△75.5</u>	<u>△63.8%</u>	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	1,736	51	△28	△25	△2 円 99 銭

(訂正後)

(3) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,941	184	130	127	15 円 18 銭
今回修正 (B)	1,942	<u>44</u>	<u>△47</u>	△68	△ 8 円 13 銭
増減額 (B-A)	1	<u>△140</u>	<u>△177</u>	△195	
増減率 (%)	0.1%	<u>△76.1</u>	<u>—</u>	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	1,736	51	△28	△25	△2 円 99 銭

(訂正前)

(2) 個別業績

営業利益

製造部門におきまして、半導体関連部品の品薄感等により、原材料部品の予定納期に沿った調達が困難な状況が続く中、生産計画を維持していく為に、通常外仕入ルートからの割高な部品の調達も含め、予定外の経費の発生を誘発している状況にあり、収益改善計画の推進に弾みがかからないまま推移いたしました。

その結果、営業利益を前回予想の 184 百万円から 45 百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の修正に加えて、外貨建て資産等について円高による評価損の計上を主な要因として計画値を下回りました。

その結果、経常利益を前回予想の 130 百万円から 47 百万円に修正いたしました。

(訂正後)

(2) 個別業績

製造部門におきまして、半導体関連部品の品薄感等により、原材料部品の予定納期に沿った調達が困難な状況が続く中、生産計画を維持していく為に、通常外仕入ルートからの割高な部品の調達も含め、予定外の経費の発生を誘発している状況にあり、収益改善計画の推進に弾みがかからないまま推移いたしました。

その結果、営業利益を前回予想の 184 百万円から 44 百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の修正に加えて、外貨建て資産等について円高による評価損の計上を主な要因として計画値を下回りました。

その結果、経常利益を前回予想の 130 百万円から 経常損失 47 百万円に修正いたしました。

以上